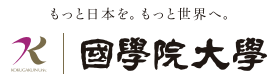


青葉6大学学生ライターが取材しました!

AOBA GUIDE BOOK

青葉6大学学生ライターが取材しました!

AOBA GUIDE BOOK



青葉6大学について教えて!

どんなことを学んでる?

國學院大學 / 星槎大学 / 玉川大学 / 桐蔭横浜大学 / 日本体育大学 / 横浜美術大学

安っ! うまっ! 学食グルメ



ART MUSIC

LOCAL FOOD

UNIVERSITY

NATURE・AGRICULTURE

TOWN PLANNING

もっと青葉が好きになる!

まちづくり × 学生

自然・農 × 学生

アート・音楽 × 学生

地産地消グルメ × 学生

どんな活動をしている? お店のこだわりは? 学生時代は何してた?

地元で活動する人に聞いてみた!!

青葉6大学の学生による AOBA GUIDE BOOKとは……

青葉区にキャンパスを有する6大学(國學院大學、星槎大学、玉川大学、桐蔭横浜大学、日本体育大学、横浜美術大学)と地域とのつながりを深めるために、青葉区では青葉6大学連携事業を行っています。

この「AOBA GUIDE BOOK」では、各大学から有志で参加した19名の学生が、所属する大学の紹介と、青葉区で活動する人たちへのインタビューにチャレンジしました。



INDEX

巻末には
学生ライターによる
編集後記も!
(P18-19)

掲載の内容は取材時のものであり、メニューや価格等は変更となる場合があります。
本ガイドブックで使用している写真は、学生ライターが撮影したもののほかに、青葉6大学、NPO法人森ノオト、各取材先から提供を受けています。いずれも提供元からの許可を受けて掲載しています。



「もっと日本を。もっと世界へ。」人づくりとまちづくりのプロを育成



CAMPUS DATA

- 所在地：横浜市青葉区新石川3-22-1
- 学部：人間開発学部、観光まちづくり学部
- 在学生数：約1,700人
- 主な施設：万葉の小径、若木21、SPORTS SQUARE、1号館



高度な教育力を持つ教員へ
人間力を育む人間開発学部

國學院大學たまプラーザキャンパスは、1968年に神奈川運動場として始まり、2009年度に人間開発学部、2022年度に観光まちづくり学部が開設されました。人間開発学部は、教員を養成する学部で3つの学科があり、幼稚園教諭や保育士、小学校教員、中高保健体育教諭の免許・資格を取得することができます。万葉集ゆかりの植物が四季を彩る「万葉の小径」の散策や、養蜂を通して地域との交流や活気あるまちづくりを目的とした万葉エコBeeプロジェクトなど、地域に開かれたイベントをしています。

観光まちづくり学部新設！
地域に貢献する人材を育成

地域社会の現状と課題を理解し、地域を主体とした「観光と交流」を軸にしながら、活力あふれる地域の実現を目指した観光まちづくり学部が2022年度に新設されました。学生一人ひとりが地域に深いまなざしを向け、魅力を再発見し、地域経済活性化につなげる手法と考え方を学びます。千葉県香取市、愛媛県内子町などと包括協定を結び、学生と様々な地域との連携が実現。その地域を学びのフィールドワークとして訪問し、交流を深める機会を作っています。



春は桜並木が有名



若鶏鉄板焼き定食 500円

大学おすすめグルメ

和食から洋食まで豊富なメニューと、ボリュームで値段以上のおいしさに学生から人気がある「スカイレストラン ヒルトップ」。校舎の5階にあるので、グラウンドやたまプラーザの街並みを眺めながら食事ができます。学生だけではなく、地域の人にとっての憩いの場でもあるのです。

多種多彩な人が多くの分野を横断的に学ぶことのできる共生科学部



CAMPUS DATA

- 所在地：横浜市青葉区さつきが丘8-80
- 学部：共生科学部（専攻：教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現）
- 在学生数：約6,000人
- 主な施設：横浜事務局、箱根キャンパス・横浜キャンパス等、全国の主要都市にキャンパス・学習センターを配置



誰でも、いつでも、どこでも
学べる共生科学部（通信教育課程）

星槎大学は、「共生」という理念のもと、共に生きることを科学する学部として、誰でも、いつでも、どこでも学べる大学です。学生は、10代から80代まで在籍しており、300以上ある科目から自由に学ぶことができます。また、在籍年限を設けていないことから生涯学習として活用することも可能です。星槎大学の「槎」は、「いかだ」を意味し、それぞれが持っている力を発揮し、「星（希望）」を目指して進んでいこうという意味が込められています。

共生の理念のもと、
地域の人と学べる

星槎大学は地域貢献事業の一環として、大学教員による地域向けの出前授業を幅広く行っています。星槎大学で学べる分野は広く、毎年さまざまなオンラインセミナーなどを開講しています。また、地域ケアプラザや小中学校の教職員の方向けの研修事業や、夏休みに小学生を対象とした造形表現ワークショップ、保護者に対する教育相談など、対面形式、オンライン形式それぞれで多様な活動を行っています。



地域向けの学びが充実しているのも特徴的

大学おすすめグルメ

星槎大学横浜事務局から歩いて15分の場所にある「日常」をコンセプトにした落ち着いた「ジョルニカフェ 玄」。青葉区で収穫された、あおば小麦と大葉を使用した「大葉薫る青葉台カレー」はパンチのある味わいと見た目以上のボリュームがあり、ここでしか食べられないおいしさです！



大葉薫る青葉台カレー 950円

(※時期によっては大葉が青葉区で収穫されたものではない場合があります)

「全人教育」を基盤に一つのキャンパスで学部を越えた学びを!

玉川大学

CAMPUS DATA

- 所在地：東京都町田市玉川学園 6-1-1
- 学部：教育学部、文学部、芸術学部、経営学部、観光学部、リベラルアーツ学部、農学部、工学部
- 在学生数：約8,500人 ●主な施設：大学教育棟2014 (教育学術情報図書館、ラーニングコモンズ)、ELF Study Hall 2015、University Concert Hall 2016



「全人教育」の提唱者、小原國芳創設 予測不能な時代に活躍できる人材を

玉川大学は、「全人教育」の理念のもと、人間に必要な真・善・美・聖・健・富の6つの価値を調和的に育むことを理想としています。それを実現させるために「12の教育信条」を定め教育活動を展開しています。

また、共通語として英語を学ぶELF教育や、複雑な問題解決に向けて各分野の知識を統合的に理解するため学部・学科を越えて学生たちが集い、新しい価値を生み出し、社会に貢献できる人材を育成するために大学独自であるESTEAM^(※)教育を行っています。

※ESTEAM：ELF,Science,Technology,Engineering,Arts,Mathematics

地域に開かれた大学を目指し 生涯学習支援を行う

玉川大学継続学習センターでは、生涯学習の拠点として地域貢献することを目指し、年間200以上の公開講座を開講しています。また、教育博物館では教育史や芸術、民俗など4万点にのぼる資料を収蔵しており、常設展や企画展を開催しています。なかでも、イコン(聖像画)やジョン・グールド鳥類図譜などの所蔵品による企画展は、多くの方が見学に訪れます。博物館webサイトでは、ニュースや動画も公開しています。



キャンパス内には教育博物館をはじめ多くの施設がある

大学おすすめグルメ

1970年に農学部の学生有志が開発し誕生した大学発のアイスクリーム、種類はミルク&はちみつ、チョコレート、ストロベリーなどに拡がりバラエティ豊かです。玉川学園前駅から徒歩1分の「Campus Store Tamagawa」で販売しています。たまがわはちみつをはじめ厳選素材を使用した絶品です!



たまがわアイスクリーム 260円~

「いまの自分」を見つめなおし「なりたい自分」を見つける!

桐蔭横浜大学

CAMPUS DATA

- 所在地：横浜市青葉区鉄町 1614
- 学部：法学部、医用工学部、【2023年度新設】スポーツ科学部、現代教養学環
- 在学生数：約2,400人
- 主な施設：T-SAL (Toin Sports Analytics Lab)、法廷ゼミ室、ラーニングコモンズ、桐蔭英語村



なりたい自分を見つけられる 本格的な施設・設備が充実

桐蔭横浜大学は「見つけよう、ミライ」というキャッチフレーズを掲げ、将来どんな自分になりたいのか、どう生きたいのか、模索している人が自分のミライを見つけられる大学です。2023年度から現代教養学環が開設され、現代社会に不可欠な5つの分野を幅広く、深く学ぶことができます。

学内には様々な施設があり、特にT-SALはスポーツの映像・データ分析ができ、スポーツアナリストなどを目指す技能習得環境としては国際的にも最大規模を誇ります。

プロスポーツ界との強い結びつき 地域スポーツの盛り上げに貢献

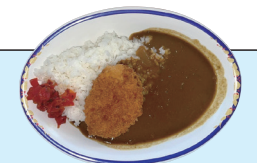
桐蔭横浜大学には地域連携関係部門の「トランジションセンター大学事務室」があり、地域の方向けの生涯学習講座やオンライン講座を数多く企画しています。地域のスポーツチームとの連携にも力を入れており、横浜北部のプロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセアーズ」との連携協定を結び、エコ活動の支援に取り組み始めました。野球やサッカーなどで多くのプロを輩出、卒業生の法律家ネットワークでスポーツ選手のセカンドキャリアを支えます。



生涯学習講座での歴史ツアー

大学おすすめグルメ

桐蔭横浜大学のおすすめ学食は、カレーです。普通のカレーはもちろんですが、スポーツ学科の学生が多いため、カツカレーやコロッケカレーは食べ応えがありとても人気です!日替わり定食や生姜焼き、ラーメンなど種類も豊富なため飽きることなくお昼を楽しむことができます!



コロッケカレー 450円

スポーツ施設が充実！日本有数の体育大学

日本体育大学

(横浜・健志台キャンパス)

CAMPUS DATA

- 所在地：横浜市青葉区鴨志田町1221-1
- 学部：体育学部、スポーツマネジメント学部、保健医療学部
- 在学生数：約 5,800 人
- 主な施設：スポーツトレーニングセンター、米本記念体育館、陸上競技場、体操競技館



スポーツや教育で活躍する人材を育成 全国・世界に羽ばたく日体大生

日本体育大学は「たいいくふきょうのもとい体育富強之基」という建学の精神をもとに、体育スポーツの普及・発展を積極的に推進する人材の育成を目指しています。東京・世田谷キャンパスと合わせて5学部9学科あり、卒業後は保健体育科教諭、養護教諭や国家・地方公務員、スポーツ指導員、そしてプロスポーツ選手や実業団など、スポーツを通して学んだことを活かせる職業に就く人が多いです。また、日体大から東京2020オリンピック・パラリンピックに69人の選手が輩出され、金メダルを4つ獲得することができました。

日体大だからこそ生まれる 地域とのつながり

日本体育大学には陸上競技場や体操競技館、野球場、体育館など、数多くのスポーツ施設があり、特に体操競技館はナショナルトレーニングセンターなどと同じくらの世界レベルの練習場です。また、陸上競技場は他の場所に比べて非常に良いタイムが出やすい競技場と言われています。日本陸上競技連盟第3種公認の競技場であり、日頃から丁寧な整備や検査を行っています。地域のイベントや防災訓練、リーグ戦、外国人選手の事前合宿等でも利用されています。



青葉区と災害対策に関する協定を結んでいる（防災訓練）



からあげ定食 470円

大学おすすめグルメ

横浜・健志台キャンパスには、500円以下でボリュームミーなランチと、ワンプレート600円でスイーツも提供する2つの学食があります。中でもオススメなのは、「グレートライオン食堂」のからあげ定食。大きなからあげが5~6個入っており、ボリューム満点でアスリートに人気！

美術に関する基礎から「ツクル」横浜美術大学

横浜美術大学

CAMPUS DATA

- 所在地：横浜市青葉区鴨志田町 1204
- 学部：美術学部
- 在学生数：約 800 人
- 主な施設：本館、1~7号館、カフェテリア、体育館、グラウンド等



美術・デザインを基礎から学び 充実した専門分野へ

横浜美術大学の大きな魅力は、「基礎を育てる教育方針」にあります。美術において重要な基礎能力を1年次で育み、2年次からは身につけた基礎を活かし、さまざまなコースへと分かれて応用力を身につけます。さらに特徴としてあげられるのは、少人数制ならではの教員と生徒の関係性です。コミュニケーションによって生み出されるアイデアをもとに、人と共感し合える作品を創りあげることが学生は日々精進しています。

行政や企業とコラボ！ 学生の私たちができること

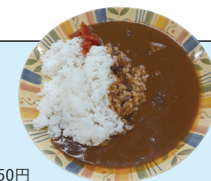
横浜美術大学は市や区、企業などと協力してさまざまな活動をしています。例えば、青葉区との連携事業「くるくる絵本サーカス」は、イラストレーションコースや絵本専攻の学生が授業で制作した作品を地域の保育園に貸し出す取り組みです。保育園の先生が子どもたちに絵本を読み聞かせ、その時の反応や先生の意見を学生にフィードバックするそうです。学生たちは、実践的な学びを通して表現の幅を広げながら、社会貢献をしています。



青葉大学のロゴ（背表紙）も美大生がデザインした

大学おすすめグルメ

横浜美術大学では日替わりランチやラーメン、ポテト、チュロスなど、主食からデザートまで豊富な種類の料理を毎日楽しめます。特に安くおいしいと評判が高いのはカレーライス！たったの250円でお腹いっぱい食べることができるため、多くの人に愛されています。



カレーライス 250円

まちなかbizあおば

横浜市青葉区美しが丘1-13-10-107
☎ 045-482-4385
🌐 <https://machibiz.com/>



起業を目指す人たちへ向けて 交流と学びの場所を

起業している人・起業したい人を支援し交流と学びの場所を貸してくれるバーチャルオフィス「まちなかbizあおば」では、10代前半から70代までの多くの人が会員となり起業しているそうです。ここ最近では起業している人より起業したい人が起業の仕方やノウハウを学ぶために会員になることが増えています。

理事長の坂佐井さんは「起業すれば学生さんでも大歓迎」だそうで、近いうちに学生向けの講座を開く予定もあるようです。

文=鈴木乃碧 取材=鈴木乃碧、阿部夏鈴



私の学生時代

家族の影響で責任感が強く、学生の頃は学級委員や、サッカークラブではキャプテンでした。



NPO法人 協同労働協会 OICHI
(まちなかbiz あおばを運営するNPO法人)
理事長 坂佐井雅一さん



私の学生時代

大学では硬式野球部のマネージャーでした。4年間で何十冊ものノートに試合結果を記録しまくるメモ魔でした。



理事長 北原まどかさん

NPO法人 森ノオト

横浜市青葉区鶴志田町818-3
☎ 045-532-6941
🌐 <https://morinooto.jp>



人生にエコとものづくりを ローカルメディアで情報発信

地球温暖化の問題が顕著に始まった2009年、子どもたちが大人になる時に大変な世の中になるのではという危機意識をきっかけに、ローカルメディア「森ノオト」は創刊しました。青葉区でエコを語り続け、年に約200本の記事を発信し、寄付布を循環する「めぐる布市」を毎月7日間開いている「森ノオト」。地域や自然に寄り添うライフスタイルを提案しています。「色々な人と諦めずに対話し、お互いを理解していくことが大切」と代表の北原さんは話します。

文=太田瑚桃 取材=太田瑚桃、中嶋美月



TOWN PLANNING

まちづくり × 学生

人と人との楽しいつながり

楽しく参加できるイベントの開催や
取り組む人々がいることを調べた学生たち。

交流の場づくりなど、様々な活動に
拠点を訪ね、活動への想いを取材しました。

藤が丘商店会

横浜市青葉区藤が丘1-28-9
☎ 045-971-8162 (トヤマ時計眼鏡店)
🌐 <http://fujigaoka.yokohama/>



「汗まつり」で 急行が停まらない街を元気に

「汗まつり」は、藤が丘商店会の飲食店で、対象の旨辛メニューを食べ歩くイベントです。1食につき1枚「あつくるシール」がもらえ、集めたシールの枚数に応じて歳末感謝祭で福引が回せる、という藤が丘商店会が主催のお祭りです。2022年は9月3日～9月16日に開催され15店舗が参加しました。汗まつりによって、期間中は藤が丘にたくさんの方が訪れて、忙しくしている飲食店も多くあるそうで、藤が丘の街を元気にすることにつながっています。

文=阿部夏鈴 取材=阿部夏鈴、太田瑚桃



私の学生時代

滋賀県の時計修理の技術者を育成する専門学校に通っていて、今の仕事に活きています。



藤が丘商店会会長
外山高嗣さん (トヤマ時計眼鏡店)



私の学生時代

昔から、子どもから大人まで「人」が好きでした。変わらないこの想いは、今の活動に活きています。



理事長 押久保美佐子さん

NPO法人 街の家族

横浜市青葉区奈良町1566-332
☎ 070-4400-1306
🌐 <https://machinokazoku.info/>

人と人がつながる みんなのおうち

青葉駅から、バスで15分の奈良町の閑静な住宅街に「街の家族」があります。かつて空き家だった一軒家を活用した交流の場です。ここでは、赤ちゃんからお年寄りまで集い、多世代交流が行われています。子どもの一時預かり、季節ごとの行事や料理など活動は様々です。スタッフと利用者に仕切りはなく、「みんな」で楽しんでいます。大家族のような温かい雰囲気の魅力です。街の家族には、今日も笑顔と笑い声があふれています。

文=中嶋美月 取材=中嶋美月、鈴木乃碧



街のはなし / 100段階プロジェクト

横浜市青葉区美しが丘2丁目・3丁目
<https://machinohanashi.com/>
<https://100dan-kaidan.org/>



私の学生時代

大学で真剣に学んだ知識を、今、自分自身の言葉にして使えています。



100段階プロジェクト代表 藤井本子さん

AOBA についてのおはなし ART に込められた想いのかたち

2008年に若い作家たちが集まって始まった地域×アートの企画「AOBA+ART」。藤井さんはその地域住民との橋渡しを頼まれたそうです。「作品を作って終わりにしてしまうだけでは、何も起きないのではないか?」という思いから、その発展形として2014年からは住民の

声を文と写真で綴る「街のはなし」や、2018年より住宅街にある階段をアートペイントして街のシンボルにする「100段階プロジェクト」につながり、今に続いています。

文=花岡怜奈 取材=花岡怜奈、前田美紀



あおばカノン / えころん

えころんの活動拠点：
 太陽ローズハウス（荻子田太陽公園内）
 横浜市青葉区荻子田3-21-5

垣根を超えた感動を共有 チャリティコンサートで支援を広げる

荻子田の子育てサロン「えころん」代表の城所律子さんは、チャリティコンサート「あおばカノン」を主催しています。「乳幼児や障害者が声を出しても大丈夫、その人らしい個性を尊重できるコンサートを作りたい」と、プロやアマチュアの演奏家が出演、ホールでのリベルタアート展も実施。誰もが感動をともにできる機会を作っています。えころんでは野外コンサートをやったり、オンラインも活用。城所さんの情熱で音楽とアートの裾野が広がっています。

文=西村美咲 取材=西村美咲、戸屋和



私の学生時代

能登半島で750年続く寺で生まれ育ち、大学では古文書を研究。アートやデザインの勉強もしました。



代表 城所律子さん



私の学生時代

児童文学研究会に所属。その他にもファッションや絵、映画からインスピレーションを受けていました。



「寺家回廊」事務局 坂上浩美さん

ART MUSIC

アート・音楽 × 学生 青葉をアートしたい!!

青葉区は文化・芸術活動が盛んです。地域機会にあふれています。見て、感じて、

主体のアートイベントや、音楽にふれられる聴いて、地域とつながりましょう。

横浜緑吹奏楽団

活動拠点：青葉区、緑区内の施設
<http://www.ryokusui.net>



私の学生時代

中学校で吹奏楽部に入学してから音楽活動は、2023年で50年になります。



代表 中澤良水さん 指揮者 今井雅之さん

横浜緑吹奏楽団から 音楽の輪を青葉に

1983年に谷本中学校の吹奏楽部のOBにより発足。団員相互の親睦をはかりながら、吹奏楽を通して地域社会に貢献し、充実した人間生活を築くことを目的に活動しています。親子そろってのコンサートデビューを応援する「青葉子ども音楽まつり」を春に、「定期演奏会」を秋に主催しています。「楽器を経験した人が音楽の輪をもっと広められる場が必要」と代表の中澤さん。「音楽とは生活の一部で、地域で常に音楽が鳴っていることが平和の象徴」と指揮者の今井さんは話します。

文=前田美紀 取材=前田美紀、戸屋和



寺家回廊 (事務局:JIKE STUDIO)

横浜市青葉区寺家町435-1
 ☎ 045-479-6777
<http://www.jike-kairo.net/>



マップを片手に里山を巡り モノづくりの現場と出会う

2022年で16回目の開催となった寺家回廊。かつての寺家町には工場が多く点在していました。現在、その跡地に工房やアトリエが増え、毎年秋に行われるアートイベント「寺家回廊」へとつながりました。「寺家町は流れる時間が違う」とJIKE STUDIOの坂上さんは話します。穏やかな四季を感じる自然の中で、モノづくりの現場を体感いただきたいという寺家のアーティストたち。緑豊かな「寺家の里山」が続いていくことを願い、秋の寺家町は彩られます。

文=西村美咲 取材=西村美咲、花岡怜奈



美しが丘公園

横浜市青葉区美しが丘2-22

活気あふれる公園へと変化を遂げた美しが丘公園

たまプラザ駅から徒歩7分ほどの場所に位置する美しが丘公園。環境美化のために、商店会と連携した清掃活動や、青葉土木事務所の支援を受け花壇の整備等を行ってきました。住民参加型の活動の結果、その名の通りとても美しく、子どもたちの遊びの場、地域の人たちに

とっての憩いの場となり活気あふれる公園となりました。コロナ禍でも工夫し、防災訓練や落ち葉清掃など地域の交流イベントが行われています。

文=平岡大吉 取材=平岡大吉、石峯あやか



私の地域活動

青少年指導員の活動を通して地域活動への興味が深まっていき、この活動をするに至りました。



美しが丘連合自治会会長 辺見真智子さん



私の学生時代

造園関係の学部で土壌について学び、それが今の梨づくりにもつながっています。



坂田農園代表 坂田清一さん

坂田農園

横浜市青葉区鉄町1509 ☎ 045-971-3675

横浜のブランド特産品「浜なし」を味わえる坂田農園

桐蔭学園入口のバス停から徒歩1分というアクセスしやすい場所に位置している坂田農園では、5種類の梨を楽しむことができます。豊水と菊水という品種をメインに栽培しており、8月中旬から約1カ月間販売を行っています。生産数に限りがあり、「熟したおいしい梨を食べてもらいたい」という坂田さんの想いから市場には出さず直

売所での販売のみとなっており、とても貴重な梨なのです。皆さんもぜひ坂田農園で横浜のブランド「浜なし」を堪能してみませんか？

文=福光春那 取材=石峯あやか、津嶋美夕、平岡大吉、福光春那



NATURE・AGRICULTURE

自然・農 × 学生

花と緑と農に癒される

学生たちが出かけた先は、春夏は緑まぶしく、遠出をしなくても自然を満喫できるエリアで

しく、秋冬は黄金色の稲穂や紅葉が美しい、す。美しい風景を守る人たちに出会いました。



私の地域活動

花が人の心を和ませ犯罪が減ると考え、この活動に参加することを決めました。



荇子田太陽公園愛護会会長 増田健一さん



私の学生時代

商学部で学び、卒業後は横浜市の職員をしていました。農業や自然に関わる仕事は初めてですが、楽しいです。



館長 細野昭正さん

荇子田太陽公園

(太陽ローズガーデン)

横浜市青葉区荇子田3-21-5

人々の愛情で彩られる公園バラと憩いの太陽ローズガーデン

昔は雑草が生い茂っていたという荇子田太陽公園。しかし、急がず、少しずつ整えていく、という考えの下、荇子田おやじの会や、地域のバラの愛好家グループ「Joy of Roses(JOR)」により、2001年から整備され始めました。今では柔らかな日差しに包まれ、子どもたちの笑顔があふれる居心地の良い公園となっています。毎年5月第3日曜日には「太陽ローズフェスティバル」が開催され、多くの人で賑わうそうです。その時期にはバラが咲き誇り、写真を撮らずにはいられないほどの光景が……!!

文=津嶋美夕 取材=津嶋美夕、福光春那

寺家ふるさと村 四季の家

横浜市青葉区寺家町414

☎ 045-962-7414

🌐 <https://jike-shikinoie.jp/>



地域の協力で守られる自然豊かな寺家ふるさと村

青葉駅からバスでたった15分、そこには美しい田園風景が広がります。季節ごとに異なる景色を堪能でき、自然の豊かさに圧倒され、どこか懐かしい気持ちになります。「この美しい景観は、地域の方の協力で今もなお、守られ続けています」と館長さんは話します。自然観察会をはじめ各種イベントも開催しており、特に良質な材料を使ったみそ造り教室やそば打ち教室は毎年大盛況だそうです。近隣の直売所では地産物の新鮮な農作物の購入もできます。

文=石峯あやか 取材=石峯あやか、津嶋美夕、福光春那、平岡大吉



バナテリアシエスタ
Panaderia Siesta

横浜市青葉区奈良5-4-1 レーベンスラウム1F
☎ 045-963-5567 <https://panaderia-siesta.com/> 🕒 7:00~18:00 (月曜日)



パンで感じる旬の味

大通りに面したお洒落でこじんまりとしたお店。パンの香りが広がる店内にはハード系を中心に豊富な種類のパンが並んでいます。「自分の中でおいしいと思ったものを商品にしたい」と話す店長の水谷さん。香り高く深いコクのある生地を作るために鮮度の高い小麦にこだわります。また、青葉区の農家から小麦を仕入れ、自家製粉にも取り組んでいます。旬の食材を使った季節を感じられる期間限定のメニューはインスタグラムをチェック！ぜひ行ってみてください。

文・取材=浅井美月



ウチルカ

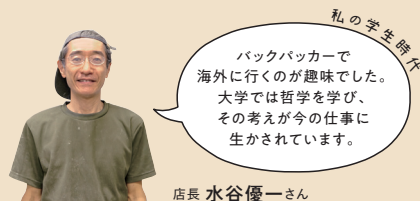
横浜市青葉区鴨志田町561-1 バインドエル
金子1F ☎ 045-961-6522 <https://www.uchiruka.com> 🕒 10:00~16:00 (日曜日)



**おうち感覚でほっと一息
心温まる地域の居場所**

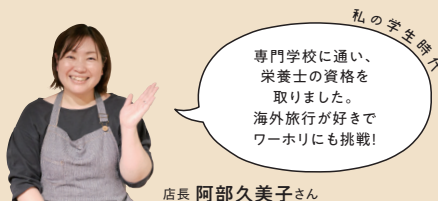
暖かな雰囲気が特徴の店内には、自家工房で作られたかわいらしい焼き菓子やチーズケーキ等が並んでいます。「自分が家に帰る感覚で、ほっとできるお店作りが会社の理念。家と同じ感覚で来られるようなお店にしたい」と店長の阿部さんは話します。そんなウチルカのおすすめメニューは「スペシャルLUNCHプレート」。地元、はやし農園のお米や、社会福祉法人グリーンの野菜を使用しています。ドレッシングも自家製。日替わりのメニューを楽しめます。

文・取材=川原玲奈



店長 水谷優一さん

私の学生時代
バックパッカーで海外に行くのが趣味でした。大学では哲学を学び、その考えが今の仕事に生かされています。



店長 阿部久美子さん

私の学生時代
専門学校に通い、栄養士の資格を取りました。海外旅行が好きでワーホリにも挑戦!

LOCAL FOOD
地産地消グルメ × 学生
青葉の旬をいただきます!

地元産の食材を地域で消費して、まちお財布にもやさしい。そんな地産地消がうるおう。新鮮でおいしくて地球にも取り組むお店を、学生が紹介します。

クアットロパンキーネ
Quattro Panchine

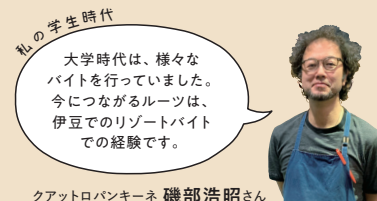
横浜市青葉区柿の木台13-3 ☎ 045-299-2760
<https://quattropanchine.com/>
🕒 11:00~18:00 (水曜日)



**昔馴染みのお店を目指して
地域の食材の魅力を全国へ**

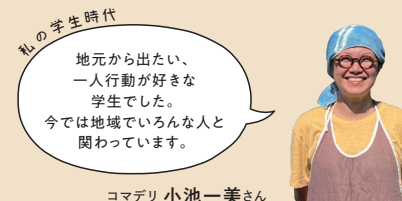
柿の木台の並木道にある、本場イタリアを彷彿させるジェラート店。このお店の特徴は、青葉区をはじめとする日本の食材を使用していることです。店主の磯部さんは、「青葉区でおいしい食材を育てるために頑張っている方々がいることを、ジェラートという形で地域の皆さんに紹介し、地域活性化につながったらうれしい」と話していました。そのため、お店に来てくださるお客様や農家の方々と直接コミュニケーションをとることを意識しているそうです。

文・取材=木幡風沙、川原玲奈



クアットロパンキーネ 磯部浩昭さん

私の学生時代
大学時代は、様々なバイトを行っていました。今につながるルーツは、伊豆でのリゾートバイトでの経験です。



コマデリ 小池一美さん

私の学生時代
地元から出たい、一人行動が好きな学生でした。今では地域でいろんな人と関わっています。

コマデリ

横浜市青葉区鴨志田町818-3
☎ 070-6462-4121 <https://koikehitomi.com/services/comadeli/>



キッチンカーで地域に笑顔を

コマデリでは地元の食材にこだわり、地域に美味しい料理を届けています。人に感謝する気持ち、食材を無駄にしないなど、小池さんの人柄がまちの人に笑顔を与えていました。おすすめ商品は「塩バターBOX」で、近隣の農家さんから直接旬のものを取り入れています。キッチンカーで販売のためお客様との距離が近いのも魅力です。出店場所は曜日によって異なるので、HPで調べてみてくださいね。ぜひたくさんの人に足を運んでもらいたいです。

文=長澤春花
取材=長澤春花、浅井美月、木幡風沙



HOW TO MAKE “AOBA GUIDE BOOK” WITH 青葉6大学学生ライター

青葉区でローカルメディアを運営するNPO法人森ノオトが講師を担当し、6月から毎月編集会議を行いました。取材術、記事の書き方や校正の仕方を学生にレクチャーする形で進みました。

01



第1回は青葉区の基礎情報をレクチャー。区が発行するさまざまなMAPやガイドブックから、学生らしい切り口を探すワークを実施!

第2回までの宿題は、青葉区の気になる1カ所を選んで写真を撮って書くこと。学生ライターが撮った写真を大きな地図に配置してみた。



02

学生ライターの活動は青葉区の公式Twitterで発信しました。毎回「Twitterじゃけん」をして、担当になった学生が原稿を書きました。



03



学生同士でペアを組みお互いをインタビューするワーク。10分で話を聞いて、5分で相手の話したことをまとめて、発表することで、取材本番の準備。



04

青葉区の魅力を4つのテーマに絞って、自分が行きたい取材先を決定!話を聞く人、サポートする人に役割分担をした。アポの連絡を取り、いざ取材へ!



07

最終回の12月には、表紙を投票で決定!「もっと青葉が好きになる」というタイトルに、青葉区を取材した学生たちの思いがこもっています。編集後記も書きました。

06



11月には自分が取材した内容が「ゲラ(レイアウトされた紙面)」に。誤字脱字や表現のおかしいところがないか、みんなで一生懸命チェック!

EDITOR'S NOTE

編集後記

石峯あやか(國學院大学・1年)

取材を通して、青葉区に住む方々の優しさや温かさにふれ、たくさんの魅力を肌で感じる事ができました。

中島美鈴(星槎大学・1年)

青葉区近くに住んでいても知らないところなどをたくさん知ることができました!

道野茅優(玉川大学・3年)

学生ライター活動はなかなか出会えない他大学の人と関わることができ、大変貴重な経験になりました。

木幡風沙(桐蔭横浜大学・3年)

取材を通して私が通う大学地域のお店や人などの魅力に出会えました。視野が広がり充実した半年間でした。

西村美咲(日本体育大学・3年)

取材を通して、地域の方のバラエティ豊かなお話を聞くことができ、とても価値のある経験ができました。

花岡怜奈(横浜美術大学・1年)

取材することの難しさと楽しさを知ると同時に、いろいろな人の話を聞けたのがとてもよい経験になりました。

川原玲奈(横浜美術大学・2年)

取材を通して、大勢の方と一つの作品をつくりあげるといった価値ある経験をさせていただきました。

12/20の編集会議最終回に参加したメンバーとスタッフ



中嶋美月(國學院大学・1年)

自分の言葉で地域の魅力を発信することの楽しさ、嬉しさを学ぶことができ貴重な経験となりました。

鈴木乃碧(星槎大学・2年)

取材や原稿を完成させるまでに色々苦労しましたが、その反面多くのことを知り、よい経験ができました。

前田美紀(桐蔭横浜大学・2年)

私は青葉区に住んでいないからこそその良さを知っています。学生ライターという形で発信できることが嬉しいです!

平岡大吉(日本体育大学・1年)

この企画を通して仲間と出会い、さまざまな経験をすることができ、とても嬉しかったです。

太田瑚桃(横浜美術大学・1年)

取材を通して地域に根付いた活動にふれられて、とてもいい経験になりました。ありがとうございました。

福光春那(國學院大学・1年)

取材や校正など初めての経験や、青葉区の魅力を多く知ることができ、とても貴重な時間を過ごせました。

浅井美月(玉川大学・1年)

ライター活動として実際に取材を行うことで、自分の興味関心の幅が広がりがり良い経験になりました。

栗原早希(桐蔭横浜大学・3年)

「初めまして」から半年間、他大学の学生と協力して一つのものをつくりあげることは最高に楽しかったです。

阿部夏鈴(日本体育大学・2年)

青葉区の魅力を見つけたり、みんなと出会えたり、沢山のモノを得ました!携わってくださった全ての方に感謝!

津嶋美夕(横浜美術大学・1年)

取材前の緊張も取材後、原稿完成後の達成感もよい経験になりました。目指せ!人見知り克服!